

ガラス・同製品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	4~5	検査2号ライン製品の工程検査実施後、レアーエンド作業場からレアー上作業台へ移動する際に、レアーエンドのステップ台から足を踏み外し、ステップと手すりの隙間に足が挟まり転倒した。その際、前方に設備されていた検査機の土台に左前頭部を打ち、挫傷した。	33~299	100
3	17~18	請負先である構内作業所でパレット（木製）に荷卸し後、パレットに足がはさまり転倒し、右膝を強打して負傷した。当初は我慢していたが、そのあと腫れ上がり、膝裏側の靭帯部分の骨を損傷していることが分かった。	38~29	10
6	13~14	棚卸作業中、パレットの上の商品を確認する際に足を滑らせ転倒し、右膝を負傷して救急搬送された。	21~99	50
7	7~8	駐輪場で自転車を止めようと左足を地面に降ろし右足も自転車から降ろそうとした時に右足が自転車に引っ掛かり身体のバランスを崩して左側へ倒れた。その際に左膝周辺を強打した。	41~299	100
10	16~17	業務を終え、退社しようと工場内を移動していた際、土間に置いてあったパレットに躓き転倒し、右肘を強打し受傷した。	56~99	50
11	16~17	ガラスクロスにヒートチューブを縫い付ける作業をしていた。糸くずが手について払っても取れなかったため2メートル程離れた場所にあるエアガンで払って作業場に戻ろうとした時、床に這っていたコードに足を取られ転倒した。その際、左手を床について庇ったところ負傷した。	59~99	50

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html